

インド 10年ぶりの政権交代：モディ新首相の誕生へ

株式市場は選挙後さらに上値を狙う展開も

ご参考資料 2014年5月20日

政権交代後の経済改革に期待

選挙

インド総選挙 結果速報： 最大野党 インド人民党(BJP)が勝利、 政権交代へ

- インドでは、4月から5月にかけて実施された総選挙（定数545議席*）の開票が5月16日に行われ、ナレンドラ・モディ氏率いる最大野党のインド人民党(BJP)が圧勝し、過半数を超える280議席以上を獲得しました。単一政党が過半数議席を獲得したのは1984年以来30年ぶりとなり、国民のモディ氏への期待の高さがうかがえます。なお、BJP率いる国民民主連合(NDA)全体では330議席以上を獲得しました。現グジャラート州首相であるモディ氏は、インドの次期首相に就任する見通しです。
 - 一方で、マンモハン・シン政権下の現連立与党である統一進歩同盟(UPA)の支持率は、近年相次ぐ汚職問題などを背景に低下した結果、議席は大幅に減り歴史的な敗北となりました。シン政権下における経済改革の停滞や、インフラ整備の遅延などが成長鈍化につながっていることへの不満も、政権交代期待の高まりにつながりました。
- (*545議席中、総選挙による選出は543議席。残り2議席は大統領指名枠)



次期インド首相 インド人民党(BJP) ナレンドラ・モディ氏
(現・グジャラート州首相)

インド最大野党BJPの党首であり、グジャラート州首相に2001年から3選連続で選出。同州を国内で最も経済的に豊かな州にしたことで知られており、全国的にも高い支持を集めています。

モディ氏は決して裕福でない家庭（父親はチャイ屋台を経営）に生まれ、現在も家族は質素な生活を送っていると言われています。政治家の相次ぐ汚職が大きな問題となっているインド政界において、クリーンで庶民的なイメージも高い人気の要因となっています。

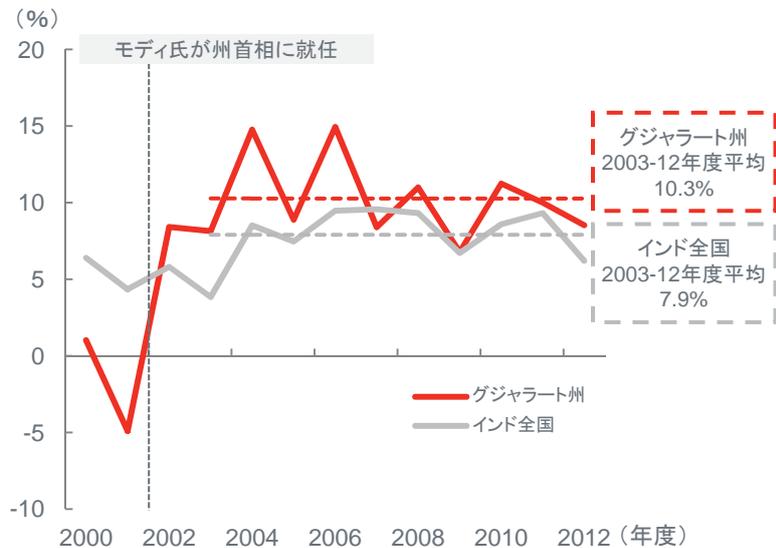
(写真：AFP/時事)

選挙

モディ新首相の誕生へ： グジャラート州での実績に期待

- 新首相となるモディ氏の政策実行力には定評があります。これまでグジャラート州で大胆な経済改革と大規模なインフラ整備を行なった結果、同州の実質GDP成長率は全国平均を大きく上回っています。新政権発足後は、グジャラート州での成功モデルが全国規模で展開されることで、停滞するインフラ投資が加速するとの期待が高まっています。
- BJPの勝利は、インドの経済停滞打破と経済改革の実現を望む国民の期待を反映しており、モディ氏には国営企業の民営化、外資規制の緩和、雇用の創出など多くの課題があります。同氏は経済成長の回復に向け、電力不足の解消、道路や鉄道など遅延しているプロジェクトの投資再開に着手することなどを表明しています。

グジャラート州とインド全国の実質GDP成長率推移(2000年度～2012年度)



出所：Eastspring Investments (Singapore) Limited.

出所：各種報道に基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

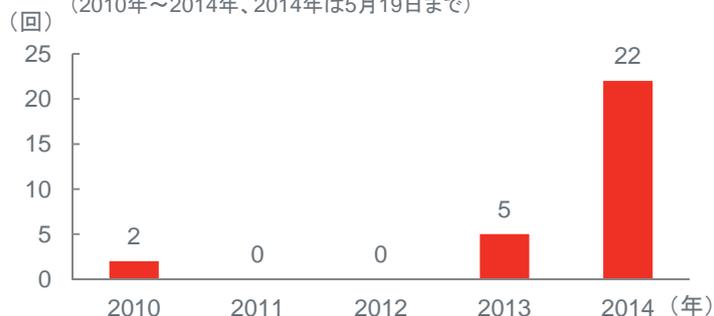
好調な株式市場：年初来22回 最高値更新

株式

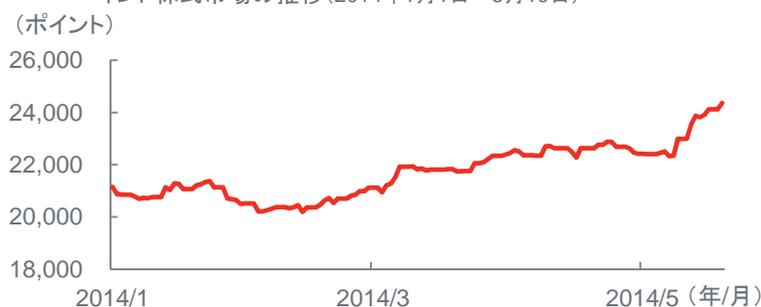
最高値を更新するインド株式市場

- 足元のインド株式市場は歴史的な上昇局面にあり、2014年年初来(5月19日まで)、終値ベースですでに22回、過去最高値を更新しています。同期間の騰落率は約+15%と大幅に上昇しています。上昇の最大要因は総選挙への期待からくるもので、5月以降は特に顕著となりました。また、開票後も上昇しており、開票前日の5月15日から19日の期間においては約2%上昇しました。
- 選挙要因以外にも、経常赤字の大幅な縮小、インフレ率が改善傾向にあること、今後数四半期にわたってGDP成長率が回復することが見込まれることなど、マクロ経済の改善およびインド準備銀行(RBI)に対する信頼感の高まりなども上昇の背景にあります。

インド株式市場 最高値更新回数(終値ベース)
(2010年~2014年、2014年は5月19日まで)



インド株式市場の推移(2014年1月1日~5月19日)



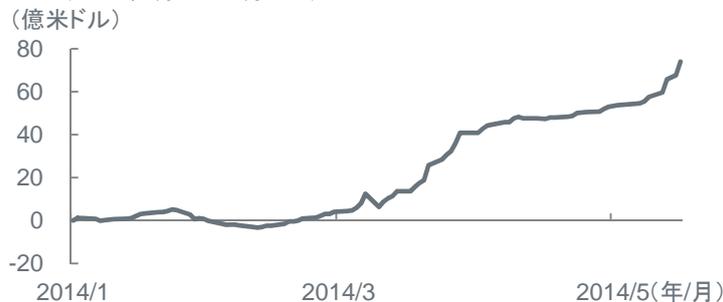
*上記グラフはいずれもSENSEX指数を使用。

見直し

モディ氏の改革推進に期待： 規制緩和により海外からの さらなる資金流入も

- 選挙の結果を受け、インドルピーは対米ドル、対円ともに上昇しています。為替相場の安定を背景に、海外投資家からの資金流入額も他の新興国を大幅に上回っています。新政権による今後の投資促進や外資規制の緩和に向けた改革への期待から、更なる資金流入も見込まれます。
- 近日中に発足予定の新政権において、まず注目されるのは閣僚人事の発表と、発足から30~40日後に予定されている予算編成です。モディ氏がグジャラート州での手腕を全国規模でも発揮できるのか、その行方が注目されます。
- 当社グループにおいては、改革を積極的に推進できる安定した新政権の誕生は、インド株式市場およびインドルピーにとって好材料であり、インドの経済成長を加速させる力強い材料になると見ています。

インド株式市場外国人投資家ネットフロー(年初来累計)
(2014年1月1日~5月16日)



インドルピーの推移(2014年1月1日~5月19日)



*対米ドルは100ルピーあたりの推移

出所：上記グラフはいずれもBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

※当資料はイーストスプリング・インベストメンツ株式会社が情報提供を目的として作成したものであり、特定の金融商品等の勧誘・販売を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料でもありません。※当資料は信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしも正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料には、現在の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、事前の通知なくこれらを変更したり修正したりすることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来を保証するものではありません。

英国ブルーデンシャル社はイーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・ファイナンシャル社とは関係がありません。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第379号/加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会